

NEW

血液検査で手軽にできる胃の健康度チェック始めました

あなたの胃はどのタイプ?

ペプシノゲン法とヘリコバクター・ピロリ抗体法を組み合わせることによって
〈胃の健康度〉を調べることができます。[胃がんリスク層別化検査(ABC分類)]

A タイプ



おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意しましょう。未感染の可能性が高いですが、一部にはピロリ菌の感染や感染の既往がある方が含まれます。一度は内視鏡検査などの画像検査を受けることが理想的です。



ペプシノゲン法

+

ヘリコバクター・ピロリ抗体法

B タイプ



少し弱った胃粘膜です。胃かいよう・十二指腸かいようなどに注意しましょう。胃がんのリスクもあります。内視鏡検査を受けましょう。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

		ヘリコバクター・ピロリ抗体法	
		陰性	陽性
ペプシノゲン法	陰性	A タイプ	B タイプ
	陽性	D タイプ	C タイプ

D タイプ



萎縮が非常に進んだ胃粘膜と考えられます。胃がんなどの病気になるリスクがあります。ピロリ菌の感染診断をお勧めします。かならず専門医療機関で内視鏡検査などの診断を受けてご相談ください。

C タイプ



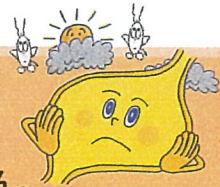
萎縮の進んだ弱った胃粘膜と考えられます。胃がんになりやすいタイプと考えられます。定期的な内視鏡検査をお勧めします。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

ABC分類判定対象外

E タイプ (除菌群)

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、ABC分類の判定の対象にはなりません。除菌判定の結果に関わらず、E群(除菌群)として定期的に内視鏡検査を受けましょう。

除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではありませんので、除菌後も内視鏡検査による経過観察が必要です。



〈この検査に不適な方〉

- ピロリ菌の除菌治療を受けた方
- 明らかな上部消化器症状のある方
- プロトンポンプ阻害剤服用中の方
- 上部消化管疾患治療中の方
- 胃切除後の方
- 腎不全の方